

# 草津市市民まちづくり提案事業協働事業評価シート(行政)

## ■協働事業概要

事業名	中高生を対象とした男女共同参画啓発事業
市担当課	人権センター
団 体	特定非営利活動法人 おうみ犯罪被害者支援センター
事業内容	(1)学校における研修会の開催 (2)研修用教材の作製 (3)研修会の記録
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 協働契約 / <input type="checkbox"/> 協働協定 / <input type="checkbox"/> 協力 (※当てはまるものに○をしてください。)
実施(契約)期間	平成25年5月24日～ 平成26年3月15日 【 継続事業 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 】
予算額	500,000円
実 績	啓発授業の実施 草津市立高穂中学校の第2学年7クラス 玉川中学校の第3学年6クラス 滋賀県立草津高等学校の教員約30人対象 カード作成・配布 10,000 枚作成し、関係機関等へ配布

## ■プロセス評価

評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった 4:できなかった 5:該当しない  
「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

			評価欄
事業 成果 や 波及 効果	1	事業の成果目標は達成できましたか。	1
	2	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
	3	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。	2
	4	事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)	2
	5	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。	3
	6	経費の見積もりは適切でしたか。	2
	7	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。	2

## ■成果と課題点

協働することで成果があった点	課題点
不特定の一般市民を対象とした事業ではなかったため、行政・団体・学校との三者間における連携が重要であったが、効果的に実施できた。	事業を実施するにあたって、教育現場でのこの問題(デートDV)に関する理解と現状認識が重要であると感じた。

# 草津市市民まちづくり提案事業協働事業評価シート(NPO)

## ■プロセス評価

評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった 4:できなかった 5:該当しない  
「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

			評価欄
事業 成果 や 波及 効果	10	事業の成果目標は達成できましたか。	1
	11	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
	12	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。	1
	13	事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)	1
	14	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。	1
	15	経費の見積もりは適切でしたか。	1
	16	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。	1

## ■成果と課題点

協働することで成果があった点	課題点
中学校の全学年同じ授業をすることで、デートDV(対等な関係)の現状が見えてきた。センター単独事業では、調査・研究・資料作成までしかできなかったが、協力することで実態が把握できた。	学校全体の取り組み方や、先生の意識に差が大きく、デートDVの授業を重視されていない現状をどのようにしていくかが、今後の課題ではないかと感じた。